

◆ 次面には西洋梨の定期防除について記載しています。ご確認ください。

和梨【有袋・無袋】共通定期防除

第9回 散布薬剤

		散布日	月	日
散布時期	有袋：7/20 前後（前回から約 15 日後） 無袋：7/15 前後（前回から約 10 日後）			
散布薬剤	水 100ℓ 当たり 展着剤（ハイテンパワー） 10ml ダニコングフロアブル 50ml（前日、1回） キノドー顆粒水和剤 100g（3日前、9回） 劇オリオン水和剤 40 100g（3日前、2回）	散布量		ℓ
対象病害虫	黒斑病、黒星病、輪紋病 シンクイムシ類、アブラムシ類、ハマキムシ類、ハダニ類、カイガラムシ類			
散布量	10a 当たり：450ℓ			
注意事項	①【代替】 <u>シンクイムシ類対策</u> オリオン水和剤 40 に代えて、劇バリアード顆粒水和剤 2,000 倍（前日、3回）を使用する。			

◆ 南水の栽培管理について

新梢管理

- ① 徒長枝整理（幹部、主枝分基部中心）
- ② 必要により 1 芽 2 新梢以上の 1 本化整理
- ③ 徒長枝候補枝の棚へのくぐらせと 45℃誘引
- ④ 摘芯
 - ・短果枝からの新梢伸長と長果枝となるものに対し実施する。
 - ・果そう葉 4 枚程度残し摘芯する。（4 芽殺し）
 - ・その後も伸びるので繰り返し摘芯する。

夏季管理

- ① 主枝（3 年枝部分）が立ちすぎている場合は、7 月上中旬までに誘引する。
- ② 主枝延長枝は、添え竹等により棚面から 30～40 cm 上げて管理する。
- ③ 主枝先端が強風等で欠落した場合は、近く of 横芽から発生した新梢を主枝延長枝として利用する。
- ④ 主枝の半分から先には主枝を負かさない弱めの新梢をなるべく多くおく。
- ⑤ 主枝の棚付け準備：折損を防ぐため枝が柔らかい 9 月中にクセをつける。（冬季の棚付け作業を容易にするため）
- ⑥ 主枝先端はせん定時に誘引しやすいように枝が柔らかい 9 月中に縦支柱からはずして斜め支柱に沿って軽く誘引する。（棚付け前）

西洋梨【有袋】定期防除

第7回 7月上旬散布薬剤

散布日 月 日

散布量 ℓ

散布時期	7/10前後 (前回から約20日後)		
散布薬剤	水	100ℓ 当たり	
	展着剤 (ハイテンパワー)	10ml	
	劇薬 バイスロイド EW	50ml	(7日前、2回)
	ナリア WDG	50g	(前日、3回)
対象病害虫	輪紋病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、アブラムシ類		
散布量	10a 当たり：600ℓ		
注意事項	①ナリア WDG は、ぶどう (ピオーネ、サニールージュ) に薬害を生じる恐れがあるため飛散しないよう注意する。		

西洋梨【無袋】定期防除

第8回 7月中旬散布薬剤

散布日 月 日

散布量 ℓ

散布時期	7/15前後 (前回から10日後)		
散布薬剤	水	100ℓ 当たり	
	展着剤 (ハイテンパワー)	10ml	
	ベルコートフロアブル	50ml	(14日前、5回)
対象病害虫	輪紋病		
散布量	10a 当たり：600ℓ		
注意事項	①ベルコートフロアブルは、ル・レクチェに薬害を生じるので使用しない。		

◆ 【7月中下旬の重点作業】

① 土壌水分管理 (土壌水分の激変を緩和)

梅雨明け後の急激な土壌乾燥防止 ⇒ 樹冠下に敷きワラ等のマルチを早めに行って下さい。

② 雑草管理：害虫の発生源となりますので、園内除草を徹底して下さい。

除草剤使用基準：バスタ液剤 (水 100ℓ 当たり バスタ液剤 500 ml) 収穫前日まで、3回以内
 ザクサ液剤 (水 100ℓ 当たり ザクサ液剤 500 ml) 収穫前日まで、3回以内

次回特報配布日

7月17日 (予定)